

# 第170回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

2019年9月

日時: 2019年9月27日(金) 16:00-17:30 場所: 神奈川大学 1号館 308-1号室

◆ 主催: 防災塾・だるま 司会: 田中 晃 記録: 紅林敏行

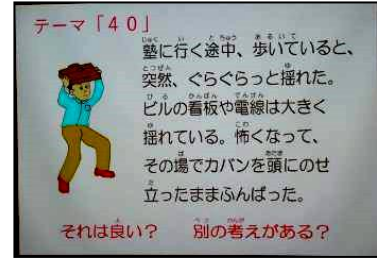
◆ 談義の会参加者: 会員19名 一般5名 計24名 (敬称略)



片山さん(講師)



講演の風景



防災めぐり(子供編 PPT版)のテーマ

話題: 『3つの防災ゲームの紹介とその1つを体験』 ~ 『防災めぐり(子供編PPT版)』を体験~  
講師: 片山 晋氏 防災塾・だるま副塾長、ゲーム考案者

考案した3つの防災ゲーム(『J-DAG(発災直後の行動ゲーム)』、『K-ZAG(絆づくりと安否確認ゲーム)』、『防災めぐり大人編・子供編(防災を学ぶゲーム)』)を紹介。『防災めぐり(子供編PPT版)』を体験。

『J-DAG(発災直後の行動ゲーム)』: ゲーム体験での混乱こそが、改善・進歩の源泉!

- ・災害発生直後は大変。その時になってからの対応は困難だということを実感できる。
- ・『J-DAG』訓練での失敗から多くを学び、現在の問題点を洗い出せる。

<参考>防災だるまHP: <http://darumajin.sakura.ne.jp/45hakkachokugo/index.html>

『K-ZAG(絆づくりと安否確認ゲーム)』: 地元自治会で実施している安否確認の仕組みをゲーム化。

- ・災害時に短時間で全世帯と安否確認を行う方法を体験。
- ・訓練時には同時に『防災豆知識カード』を名刺代わりに交換し挨拶する絆づくりも体験。

『防災めぐり大人編・子供編(防災を学ぶゲーム)』: 3人以上集まれば、誰でもどこでも手軽にできるゲーム。

- ・備え、発災時、避難時の色々な考え方、対処の方法を学ぶ。
- ・『クロスロード』のゲーム性を『坊主めぐり』式にアレンジし、横浜の事情にマッチさせたもの。



≪3グループに分かれて『防災めぐり(子供編 PPT版)』ゲームを楽しんだ!≫

≪ゲームの進行≫

- ・進行者は『テーマ』をパワーポイントで表示し、読み上げる。
- ・参加者は考える。その時の自分自身の行動は?各自が手持ちのカード『それは良い』か、『別の考えがある』のどちらかを決める。

グループ単位で・・・

- ・決めたカードを裏にして場に出す。
- ・一斉に表にし、少ない考えの人が意見を述べる。1人の時はその方が、複数の時はじゃんけんで勝った1人の方が意見を述べる。

- ・成程と思い、考えを変える人が出たら述べた方が『防災博士カード』を貰う。
- ・進行者は解説として考えの一例を解説する。

≪ゲームの特徴≫

- ・そう言う考え方があるのか?そう言う前提があるのか?色々な【気づき】が得られる。
- ・適宜、参加者からテーマに関する話題を聞いたりして、より楽しく防災を学ぶ。

## ●次回(第171回)案内

- ・日時: 2019年10月11日(金) 14時30分~16時 ・会場: 川崎市健康安全研究所 1階第1会議室
- ・テーマ: 『感染症と危機管理について』~ 普段の生活の中の何気ないことの積み重ねが感染症への大きな危機管理に~
- ・講師: 岡部信彦氏(川崎市健康安全研究所所長、慈恵医大小児科客員教授、横浜市立大学医学部微生物学客員教授など)